



「高峠つつじ」



No.79

平成 21 年 6 月 1 日 発行

たるみず

市議会だより

平成 21 年第 1 回定例会

- 一般質問 ②～⑧
- 議案等の審議結果 ⑨～⑩

平成 21 年第 1 回臨時会

- 正副議長、委員会構成 ⑪
- 議案等の審議結果 ⑪
- 議会運営委員会所管事項調査 ⑫

発行／垂水市議会
編集／垂水市議会だより編集委員会
鹿児島県垂水市上町 114 番地
Tel 0994-32-1111 (358)

平成21年度予算案可決

平成21年度一般会計予算案は前年度比マイナス3%の82億5,000万円で2月26日に上程され、総括質疑、所管常任委員会の審議を経て、3月19日の最終日に原案のとおり可決されました。

また、11の特別会計予算案及び水道・病院の事業会計予算案も同日原案可決されました。



小島憲男副市長選任 議案に同意

水迫恒美副市長の辞任に伴い、後任を小島憲男氏としたい旨の議案が最終日の3月19日に提出され、全会一致で同意されました。

総括質疑 一般質問

平成21年第1回定例会は、2月26日から3月19日まで22日間の会期で開かれ、10日・11日の本会議で13人の議員が総括質疑・一般質問をおこないました。

- 紙面の都合により主な項目について、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。
- 掲載の順番は質問順（質問通告書提出順）です。
- 詳細につきましては、図書館、両支所、各公民館、市役所2階の情報公開室にあります“会議録”をご覧ください。
※本市のホームページでもご覧いただけます。（会議録は6月上旬より閲覧できます。）



高齢者の話し相手や悩みの 相談で心も体も元気に

葛迫 猛 議員

問

今年度の新規事業として、傾聴ボランティアとあるがどのような事業なのか、またボランティアの育成とあるがどのような人材を考えているのでしょうか。

答

子育て世代や認知症、独居老人、高齢者世帯等に対する支援であり、子育て中の若い母親たちの相談や高齢者の話し相手や悩みの相談相手となり、話をすることによって、心も体も元気になってもらおうという事を目的としたものです。

ボランティアの人材としては、年齢、性別にかかわらずボランティアとして活躍できる方をお願いいたします。

傾聴ボランティアは、相手の話を聞くだけ、悩みの相談等の解決をするのではない。また、相手に結論を求めるものではない。各地域に募集し、傾聴の趣旨や話の聞き出し方などの研修を年6回開催し、傾聴ボランティアとして活躍

いただく方の育成を考えています。ふるさと納税について20

問

年度の実績と21年度の取り組みについて。

答

20年度の寄付金受納額は120件で1,613万7千円となっております。

21年度の取り組みは、20年度の寄付者に対して、寄付の受け入れ状況や活用状況などの中間報告書を21年度の寄付協力依頼とあわせて出納整理期間終了後をめぐりに送付する予定です。

昨年パンフレットを送付し、寄付の呼びかけをしたが、寄付に至らなかった約2千名の方々には、寄付者同様、中間報告書と再度の寄付のお願いを送付する予定です。

新たに寄付の依頼者の掘り起こしにつきましては、市民の方々を中心に取り組んでまいりたいと思っております。

(その他の質問事項)

- 急激な景気悪化による市税の影響は
- 消防職員の資格取得について



女男河原



「救急隊職員増員」消防力強化へ！

北方 貞明 議員

問 救急業務の牛根分遣所の勤務体制及び車両整備について。

答 消防法第2条第9項に救急業務とは、災害により生じた事故もしくは屋外もしくは公衆の出入りする場所において生じた事故等の傷病者を緊急に救急隊によって医療機関に搬送すること。また、消防法施行令第44条に、救急隊は、救急自動車1台及び救急隊員3名以上をもって編成しなければならない。となっているが、牛根分遣所では9名体制のため救急隊3名乗車については、平日の昼間4名当務時に限り3名出場するが、土曜、日曜、祭日及び夜間は、3名当務のため3名乗車は不可能であり、救急車3名乗車を実施するには、人員増しなく来年度2名増員し、今後増員を図りながら垂水市の消防・救急・災害に対応できる消防力強化が必要と考えております。車両整備については、牛根分遣所の水槽付消防ポンプ自動車1台、第4分団水之上地区及び第9分団牛根境地区に消防ポンプ

自動車2台、第5分団垂木の小型ポンプ1台の更新を計画し、6月議会に補正予算の要求を予定しております。

問 平成22年4月開校の垂水中央中学校の校舎について。

答 現垂水中学校の校舎を大規模改造工事での整備、大規模改造工事は、面積こそ増えないが、校舎の骨組みだけを残し、外装、内装を全てリフォームで改築同様にきれいになる。大規模改造工事を選択した理由。①財源的に改築事業の方が数億円の負担増になる。②必要な耐震補強工事を含めた大規模改造工事を行うことで全面的確保ができる。③国の施設整備基本方針で耐震化を進めるために既存の建物を活用し、効率性に考慮するよう求めている。

問 ゴミ分別について

答 不燃ごみの履物、水道用ホースなど再利用、再使用できず資源にならない物は、今後、燃やせるゴミとして変更を指示する。



行財政改革の達成見込みと、職員適性化計画の推移は？

田平 輝也 議員

問 平成17年度から始まった財政改革は今4年目の途中であり

ますが、達成見込みをどのように想定されておられるのか、また定員適正化計画の職員数の推移について伺います。

土地開発公社が保有する土地を早期処分することなどで将来の財政不安を解消することとしたが、市としては処分について何か検討などされておられるのか伺います。

答 決算を待たなければ、正確な数値は出せませんが、見込みで地方債残高は目標額112億100万円に對しまして108億7,400万円まで減少させられ十分に達成できそうです。しかしながら財政調整基金の積立額は、4億4,800万円に對し、現在のところ3億3,000万円となるようです。新定員適正化計画の職員の推移については、策定当初の平成17年4月の職員数285名を10年間で50名削減する計画ですが20年4月1日現在で260名と

なり、計画に對して12名の前倒しの削減であります。土地開発公社は3箇所の土地を保有しております。その内、錦江町の旧フェリー駐車場の約5,000坪については企業誘致に努めておりますが、現在の設定単価で売却するのはかなり困難であります。今後、理事会のご承認をいただき、さらに垂水市の御協力をいただければ価格を下げる事が可能となり処分が進むと考えております。

問 高齢化が急速に進む中、振興会の合併や委託料等を振興連と十分協議していくとの事でしたがその後の経過と、限界集落の推移を伺います。

答 20年度振興連理事会で委託料の変更など協議しましたが従来どおりと決しました。今、3振興連が合併などに向けて協議されておりますが今後、振興会の合併・統合については行政も協力していきます。また限界集落に該当する集落は19年度26振興会、20年度30振興会であります。



トントコ館



ピンチをチャンスに！ 全市民の英知で経済危機克服！

尾脇 雅弥 議員

問

① 21年度施政方針の柱である子育て支援・少子化対策について総括的中身は？

② バイオマス事業について～NEDOの補助をうけ、日本総研や垂水市が共同研究した3年間の実証実験の成果は？

③ 行政組織の改革・見直しについて～行財政改革に伴い職員数が減り、一方で地方分権に伴い仕事量が増える中で、市民サービスを低下させない為、大きく五つの組織に分類し、効率的・機能的な再編を？

④ 地域活性化・生活対策臨時交付金について～53事業。総額2億1,713万円の予算を頂いております。事業の詳細は？

⑤ 長期ビジョンでの垂水作りの中心「桜島架橋」について～現状は？

答

① これ迄の6歳迄医療費助成を中学校卒業迄に、妊婦健診の公費負担を5回→14回に、水之上雇用促進住宅の活用。更に今後、市内五つの子育てグループの要請による支援、拠点作り等力を入りたい。

② 日本版グリーンニューデール

政策の視点や地球保全・温暖化抑制・低炭素社会の流れからも重要。家畜ふん尿等静脈エネルギーを活用してのバイオマスタウン構想を進めたい。

③ 組織改革の提言資料を見せて頂き良い考えだと思います。類似の関連部署を統括し、統括官を置く考え方を庁舎内の事務改善委員会で検討する。

④ 今迄にない有りがたい予算措置。地元中心に有効活用したい。安全確保の為→自主防災組織拡大の機器等の購入。環境保全の為→生ゴミ容器・低公害公用車の購入。農林活性化の為→農林道整備。施設活性化の為→定住促進の全戸シャワー施設・高齢者向け改修。市道11箇所改良工事。少子化対策の為→児童書を購入。幼児教育の充実を図りたい。

⑤ 経済同友クラブを中心とした民間の取り組みにより、当初架橋に反対だった知事が大切さを認識し、約2千万の予算措置頂いた。行政も尽力する。



水産振興資金貸付金の 更なる支援拡大はできないのか？

大藪 藤幸 議員

問

水産振興資金貸付金について、お伺いいたします。漁価の低迷、消費の低迷に行政は20年度から1億円の貸付を行っていらっ

しゃいますが、果たしてこの貸付金が1億円で充分なのか、垂水市漁協1億円、牛根漁協1億円として貸付ける考えはないのか、過去には、2億円所得税を払われた水産業者もいらっしゃいます。我々が苦しい時に水産業者が行政に力を貸していただいたことは、紛れもない証拠でございます。

次に農業政策について、市長はかねてからポストキヌサヤ・インゲンを早く確立したいといわれていますが、どのような作物を検討されているのか、現在の段階なのかお聞きいたします。また、舗装されていない農道を受業者が労力を提供するというような箇所がございますしたら原材料支給を惜しまずお願いできないかお尋ねします。

答

22年度以降の水産振興資金の増額については、市の財政事

情も厳しく損失補償の償還期限も23年3月末となっていることからかなり厳しいものと思われま

す。農業政策については、ポストキヌサヤ・インゲンについて、現段階でオリーブ、ゆずの試作をしており、大葉も検討しております。

農林課を中心に一生懸命頑張っております。農道整備につきましては、受益者の協力をいただければ、共生・協働の理念から当然のことながら支援をまいります。





垂水中学校魚教室



全小学校の耐震化は 平成22年度迄に完了!

森 正勝 議員

問 第4次行政改革大綱の進捗状況と課題について説明を。

答 大綱を実現するため106の推進項目を設定し、取り組んでおり、そのうち2月末で実施済みが72件あり、約68%が取り組み済みである。行財政改革の課題につきましては、行財政改革は、行政に課せられた永遠の課題と考えられており、単に収入の増加、経費の削減を目的とするのではなく、第4次垂水市総合計画のまちの将来像「水清く優しさわき出る温泉の町垂水」の実現のためにも、今後も行財政改革を推進していく所存であります。

問 本市は、1月31日付で厚生労働大臣から平成21年度における高医療費市町村として国の指定を受けました。今後の医療費抑制についての計画、いわゆる安定化計画についての説明をお願いします。

答 平成21年度の安定化計画について現在策定中ではありますが、具体的な対策の例といたしまして、

レセプト点検、ジェネリック医薬品使用促進等の充実、強化健康づくりに関する各種啓発資料の配付や健康づくりのイベント開催を行います。被保険者の指導の推進、

特定健診、特定保健指導の充実に関する保健事業の推進、医療連携体制の整備推進、介護サービスや高齢者向けの住まいと見守りサービスを行う地域ケア体制の整備、障害者福祉サービスとの連携、保険税の適正な賦課徴収等、収納対策の強化、充実などについて策定し取り組みます。

問 各学校の耐震化についての進捗状況を説明いただきたい。

答 現在市内小・中学校の校舎、体育館の棟数は合計で、54棟で、そのうち耐震補強の必要のない棟数は8棟で、耐震化率は14.8%となっている。全ての小学校の耐震化の完了は平成22年度末をめどに行い、新垂水中央中学校は大規模改修工事で平成24年度までに耐震化が完了する予定である。



子供は次代の担い手 子育てしやすい環境づくりを

川畑 三郎 議員

問 垂水市漁協・牛根漁協が垂水市及び市民に対する貢献は大きなものがあります。両漁協がどんな形で市や住民に接してきたか。また、今年度の水産業予算について。

答 市内の小・中学校の生けす見学、カンパチ料理教室、マダイ放流体験、カンパチつかみ取り大会や福祉施設へのカンパチ、ブリの寄付、さばき方体験等を実施されました。主な事業は、カンパチ、ブリの販売促進のPRの支援、ヒラメ、マダイの放流、種子島周辺対策事業による新城地区への生けす移転、水産振興資金の貸付などです。

問 国道整備について。

答 国道の21年度整備は海潟地区、脇登地区の用地買収を進めており、終わり次第、改良舗装工事に着手する予定です。新城地区も引き続き柘原地区の残り区間の整備を進めます。

早崎防災区間の脇登～早咲大橋区間は、20年度にトンネルを除く

ところの測量設計を実施しており、21年度は一部用地買収に着手の予定です。トンネル部分については、事業費等の比較検討を行い、実施計画に入る予定です。

問 子育て支援について。

答 医療費助成につきましては、現行の6歳未満までの医療費助成を中学校卒業までとします。非課税者以外の方は従前3,000円控除後について助成するものです。

妊婦健診の公費負担の拡大については、昨年度まで公費負担を5回までとしておりましたが、国の子育て支援の方針に基づき、妊婦の方が健診費用の心配をせず妊婦健診が受けられるよう公費負担を14回までとします。

○(その他の質問事項)
土砂災害警戒区域について



自治会館ふるさと市場



実施計画事業費ベースから 財源ベースへの見直し?

池之上 誠 議員

問

施政方針で第4次垂水市総合計画に沿った主要な実施計画について順次説明された。総合計画が垂水市の今後十年間を方向付ける最上位の計画であることは市民共有の認識である。子育て支援策等には新規事業としての確に予算措置され、厳しい財政状況の中当局の予算編成に対し、慰労するところもある。今回は、第4次補正予算を含めた当初予算の各事業について、実施計画との整合性を比較しながら見解を伺いたい。

答

①(大野ESDと猿ヶ城溪谷総合整備事業について)

実施計画との比較では、進捗は遅れているが、農林水産省の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業の採用により、施設整備を補助率50%残りは辺地債で充当ができる。財政的に有利な事業導入ができ、結果的に整合性は保たれる。

②(農業施設管理事業と市道改良事業について)

当初予算では、実施計画の事業費に満ちていないが、第4号補正で

地域活性化・生活対策交付金を最大限活用することにより、前倒しの予算編成ができた。内ノ野辺地総合整備計画中の市道改良事業は1期工事の変更遅延で、2期工事の手貫神社から県道南之号線までは当初予算にない。関係各課と協議し、6月議会に提案するよう努める。

③(実施計画および行財政改革のローリングについて)

実施計画は事業費ベース、予算編成は財源ベースであるから、整合させることは容易でない。期間中予算化できない計画は次年度以降にローリングする必要がある。時代の変革が激しい時であるから、その時点で市民にとっていい方向に考えていく。国もやる気のある地方に事業を投げかけており、今がいいチャンスでもある。有利な事業採択に関係各課が一生懸命取り組みていることは評価したい。



①プレミア付商品券の発行は! ②水之上小学校に学童保育は!

池山 節夫 議員

問

学校教育の充実について。携帯電話の学校への持ち込みについての対応と「プロフ」について。小中一貫教育についてと水之上小学校での放課後児童クラブ設置について。

答

市内8小学校と4中学校で携帯電話の持ち込みを原則禁止としております。プロフ問題ですが、本市の学校に関わる裏サイトや不適切な書き込みがないかを定期的に確認させておりますが、今のところは確認されておりません。次に小中一貫教育についてですが、中一ギャップによる不登校の存在は確かにあるわけですが、相互授業を考えたとき、距離的な面で近隣の学校は可能ですが、距離のある小学校は難しくなると思われまので、現行のところ考えておりません。水之上の学童保育、これは子供を持つ親の仕事まで大きく影響してきますので、よく考えていかなければいけない。定住促進住宅水之上に15件の申し込みがあったという事は、子供の数が15人

以上増えるという事ですから、できる方向へ進まなければいけないだろうと思っております。

問

財政改革プログラムと景気対策について。私の思いから言えば、300万円くらい頑張ってみて、一割プレミアムの商品券を発行できないものだろうか、そうすると3,300万円の流通、景気刺激になります。財政的にどうか、市長に伺います。

答

全市の商店全体で使える商品券であれば、公平な効果があるだろうと思っております。この辺は商工会も努力していただかないといけませんし、そういう環境になれば、やれない事はないと思えます。

問

霧島市の介護保険ポランティア制度について。

答

霧島市のポイント制はできないかという質問ですが、非常に慎重に対応しなければならぬと考えております。



市制施行50周年記念事業「鼓響」



**市民の暮らしをささぐえ、
将来への不安を解消する施策を**

持留 良一 議員

問 雇用対策と生活支援策は問題ないか質疑する。一つは派遣労働も含めて雇用状況を把握されているか。二つ目は、失業者や低所得者対策への生活支援策で、住民税や国保税など生活を守る減免基準の緩和はできないか。三つ目は進出企業が休業したが、子育て中の人たちへの保育料の減免で生活支援できないか。

答 景気・経済対策も実施されるが短期的であり効果も短期的である。恒常的な雇用創出対策が必要であるが、追加景気対策はとられるのか。

答 雇用状況の把握は、関係課が会社訪問したり、ハローワークとも情報交換して現況の把握に努めている。本市の派遣労働は少数である。地域活性化交付金等も多く市内業者が受注できる内容である。平成21年度の景気対策は重要なことなので動きをみながら手だてを講じていく。生活支援策での減免については、税制条例などの減免の規則があるので対応し

ている。実態にあった緩和策については、今後、他市の状況等を調査し検討していく。保育料の減免は収入減の基準が曖昧で運用面で厳しい。

問 学校給食の民間委託の最大の目的は経費削減といわれているが、具体的効果は何時頃からか。また、学校給食の委託が請負方式であれば職安法施行規則の4要件を満たさないと「偽装請負」の可能性があるが否定できるか。

答 人権費が4千万円ほど削減できる。しかし、職種変更しても職員数は減らないので効果の試算は難しい。平成31年度以降に人権費が委託料を下回ってくるとのデータをもらっている。請負方式は労働局から偽装請負の指摘を受けた自治体もあり、今後調査研究していきたい。

(その他の質問事項)

- 施政方針と一般会計予算案について
- 子育て支援対策問題
- 介護保険特別会計について



**市政運営と予算編成の
構造変化への対応は！**

宮迫 泰倫 議員

問 今、世の中は不景気で、構造変化が起こっております。非正規雇用の増大、公共投資の縮減、規制緩和、グローバル化、少子高齢化などです。その構造変化に対応しなければ生き残れない。構造変化への対応は、不況業種に属しているも業績がよい企業、好調業種でも業績の悪い企業が存在します。それから、景気がよい時期でも業績の悪い企業は存在し、景気が悪い時期でも業績のよい企業は存在いたします。御存知のとおりです。それから景気拡大期であったにもかかわらず、業績の悪い企業とよい企業の格差が拡大しているということですが。これからの時代は、たとえ小さな企業でも歩みはゆっくりでも確実に変化する企業が生き残ります。

鳴り物入りの農業公社設立へ向けての努力をされたと思います。が、今、設立断念に至った経緯をお聞かせください。

答 構造改革、それからグローバル化、本当にここ最近、激変

の時代だというふうには、私のほうもそのように思っております。また、それに対応することが、非常に重要であるというの、議員と同じ認識でございます。農業公社問題につきましては、これもまた構造改革であろうと思っておりますし、構造改革の中で、JAの参加を得られなかったこと。公益法人としてのJAの参加がどうしても必要であるという意味からしまして、断念せざるを得なかったという思いです。平成18年度から多くの準備委員会の方々に、垂水農業の公社を通じてあるべき姿をいろんな角度から検討して、たくさん意見をいただき、今後の指針にすべき事柄もたくさんあったというふうな思っております。本日に討議いただいたことは、今後にもまた生かしていかなければいけないと考えているところでございます。



道の駅ウォークボード完成式典



**事業計画のローリングは適正に
実施されてきたのか？**

川尻 達志 議員

問 本市の過去の事業の中で、本当に議会で真剣に議論されたのかと思いたくなるような事業があります。議会もしくは市民との議論に耐えうる資料の提出があったのかと疑いたくなります。さらには事業計画の見直し、すなわちローリングは適正に実施されて来たのかお伺いいたします。

答 垂水南漁港と境の漁集を例に挙げて質問されたが、当時の首長初め議会の承認を得て決定したことであり、私からのコメントは控えたい。農業公社、新中学校の校舎のローリングについては、議論が足りずに云々という問題の後いろいろな問題が発生した。流れが変わったという面があるということを御認識いただきたい。

問 国保特別会計の収支バランスが崩れたことにより赤字が大きくなり、平成17年に県の指定を受け今回また国の指定を受けたが、その原因と対策は。

答 生活習慣病に起因する長期入院患者が多いことが原因の一

つであり、特に糖尿病からの腎臓の人工透析が県内と比較して非常に多くなっている。基本健診の結果に基づき健診指導等を保健師が行っている。

問 現在我が国の農業は完全に崩壊しつつあるが、本市も例外ではありません。農山村は、近い将来そのほとんどが限界集落化して行きます。その様な中、企業の農業参入、いわゆる農業法人が増加傾向にあるといわれているが、本市の実態と今後の見通しについて。

答 地域活性化のためにも農業振興は重要な位置にあります。農地法の改正等もなされる様であり、企業の農業参入が益々可能になってきますので、ご提案の件については努力し、要望に応じてまいります。



農業公社設立断念と統合中学校新築計画の変更は、信念を持って取り組んだ結果か！

篠原 静則 議員

問 農業公社設立については、平成20年第2回定例会での質問に對して、課長の答弁は大変前向きな答弁であったと記憶している。設立準備委員会も設置され、3年も取り組んで設立出来なかったことには、責任があると思うが、どの様に考えているのか伺いたい。

答 本市の地域農業の振興と活性化を図り、農業者の経済的・社会的向上と発展に貢献することを目的として、設立準備委員会を開設したが、新制度により公益事業を目的とする法人については、農業関係団体の参入がなければ、単独での認可は難しいと県の見解であり、きもつき農協との協議の結果、1市の農業公社のために毎年会費などを出資することは総会等で承認が得られない。公社参入は見送りたいとの結論が出ましたので、設立について断念いたしました。

問 新校舎建て替えの件で、平成20年3月議会の質問に對し、早い時期に建て替えをしたいと答

弁されているが、今回、大規模改造でしたいと説明があった。市長は、常日頃から「市民が主役！市民の目線で行政をやる！」と言われていたが、小・中学校の父兄も立派な市民である。校舎建設が当初大規模改造で新築に変わったのであれば市民にも喜ばれるが、今回は全く逆であり、本市の財政状況を勘案すればやむを得ないかもしれないが、重要な計画については、しっかりと協議すべきではないか。いかなる理由があるうとも、計画がくるくる変わるようだと市民の信頼は得られない。児童・生徒・父兄はがっかりしていると思う。こういう計画は慎重に慎重を期して頂きたい。「大人が子供を騙してはいけない！」と思うが、教育長の見解をお聞かせください。

答 今回の変更は、関係者には大変迷惑をかけ、改築での整備に期待されていた方々が残念な思いをされたのではないかと思う。保護者等関係者には機会を捉えて、説明したい。

平成21年第1回定例会に付議された事件審議結果一覧

番	号	件	名	審査結果	
議案	第1号	垂水市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例	案	否決	※1
議案	第2号	垂水市企業立地の促進等による地域における固定資産税の特別措置に関する条例	案	原案可決	※2
議案	第3号	垂水市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例	案	原案可決	
議案	第4号	垂水市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第5号	垂水市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第6号	垂水市乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第7号	垂水市教育委員会教育長の給与に関する条例等の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第8号	垂水市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第9号	垂水市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第10号	垂水市防災会議条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第11号	垂水市個人情報保護条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第12号	垂水市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第13号	垂水市国民健康保険条例の一部を改正する条例	案	原案可決	
議案	第14号	垂水市道路線の認定について		原案可決	
議案	第15号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について		原案可決	
議案	第16号	鹿児島県市町村総合事務組合の財産処分について		原案可決	
議案	第17号	平成20年度垂水市一般会計補正予算(第4号)	案	原案可決	
議案	第18号	平成20年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	案	原案可決	
議案	第19号	平成20年度垂水市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)	案	原案可決	
議案	第20号	平成20年度垂水市介護保険特別会計補正予算(第3号)	案	原案可決	
議案	第21号	平成20年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	案	原案可決	
議案	第22号	平成20年度垂水市病院事業会計補正予算(第2号)	案	原案可決	
議案	第23号	平成20年度垂水市と畜場特別会計補正予算(第2号)	案	原案可決	
議案	第24号	平成20年度垂水市潮彩町排水処理施設特別会計補正予算(第2号)	案	原案可決	
議案	第25号	平成20年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号)	案	原案可決	
議案	第26号	平成20年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	案	原案可決	
議案	第27号	平成20年度垂水市水道事業会計補正予算(第3号)	案	原案可決	
議案	第28号	平成21年度垂水市一般会計予算	案	原案可決	

議案	第29号	平成21年度垂水市国民健康保険特別会計予算案	原案可決	
議案	第30号	平成21年度垂水市老人保健医療特別会計予算案	原案可決	
議案	第31号	平成21年度垂水市後期高齢者医療特別会計予算案	原案可決	※2
議案	第32号	平成21年度垂水市交通災害共済特別会計予算案	原案可決	
議案	第33号	平成21年度垂水市地方卸売市場特別会計予算案	原案可決	
議案	第34号	平成21年度垂水市介護保険特別会計予算案	原案可決	※2
議案	第35号	平成21年度垂水市老人保健施設特別会計予算案	原案可決	
議案	第36号	平成21年度垂水市と畜場特別会計予算案	原案可決	
議案	第37号	平成21年度垂水市潮彩町排水処理施設特別会計予算案	原案可決	
議案	第38号	平成21年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計予算案	原案可決	
議案	第39号	平成21年度垂水市簡易水道事業特別会計予算案	原案可決	
議案	第40号	平成21年度垂水市水道事業会計予算案	原案可決	
議案	第41号	平成21年度垂水市病院事業会計予算案	原案可決	
議案	第42号	垂水市介護保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	※2
議案	第43号	市長専決処分事項の指定の一部改正案	原案可決	
議案	第44号	垂水市職員定数条例の一部を改正する条例案	原案可決	
議案	第45号	過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決	
議案	第46号	平成20年度垂水市一般会計補正予算(第5号)案	原案可決	
議案	第47号	垂水市副市長の選任について	同意	
議案	第48号	垂水市監査委員の選任について	同意	
議案	第49号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	適任	
議案	第50号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	適任	
議案	第51号	平成20年度垂水市一般会計補正予算(第6号)案	原案可決	
意見書案	第16号	WTO農業交渉に関することについて	原案可決	
意見書案	第17号	非正規労働者等の雇用とくらしを守るための意見書について	原案可決	※2
陳情	第14号	WTO農業交渉に関することについて	採択	
陳情	第15号	垂水市運動公園陸上競技場「公認4種」申請について	継続審査	

※1 付託総務文教委員会否決 本会議では同数 議長裁決 ※2 賛成多数 無印は全会一致

平成21年 第1回臨時会

5月8日に、会期1日で臨時会が開かれました。専決処分の報告及び議案審査等が行われた後、議長及び副議長を選挙により決定し、その後、常任委員会・議会運営委員会の委員選任が行われました。

議長 葛迫 猛

副議長 川尻 達志

議会運営委員会

(議会の会期及び日程並びに運営に関すること。議案、修正案、請願等の取り扱いに関すること。その他。)

委員長 篠原 静則

副委員長 森 正勝

委員 大 藪 藤 幸

堀 添 國 尚

北 方 貞 明

川 畑 三 郎

総務文教委員会

(総務課、企画課、財政課、市民課、税務課、市民相談サービス課、会計課、消防本部、監査事務局、議会事務局、選挙管理委員会及び教育委員会の所管に属する事項)

委員長 田 平 輝 也

副委員長 大 藪 藤 幸

委員 尾 脇 雅 弥

池 山 節 夫

持 留 良 一

葛 迫 猛

篠 原 静 則

川 畑 三 郎

産業厚生委員会

(農林課、商工観光課、水産課、土木課、保健福祉課(福祉事務所を含む)生活環境課、水道課及び農業委員会の所管に属する事項)

委員

大 藪 藤 幸

堀 添 國 尚

田 平 輝 也

委員長

北 方 貞 明

副委員長

感 王 寺 耕 造

委員

堀 添 國 尚

池 之 上 誠

森 正 勝

宮 迫 泰 倫

川 尻 達 志

德 留 邦 治

尾 脇 雅 弥

市議会だより編集委員

委員長

持 留 良 一

副委員長

森 正 勝

感 王 寺 耕 造

平成21年第1回臨時会に付議された事件審議結果一覧

番 号	件 名	審査結果
報 告 第1号	専決処分の承認を求めることについて (垂水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 案)	承認 ※1
報 告 第2号	専決処分の承認を求めることについて (垂水市税条例の一部を改正する条例 案)	承認 ※1
議 案 第52号	平成21年度垂水市一般会計補正予算(第1号) 案	原案可決
議 案 第53号	垂水市監査委員の選任について	同意

※1 賛成多数 無印は全会一致

所管事項調査報告

議会運営委員会

日程

平成21年2月3日～5日

調査地

京都府京田辺市・三重県伊賀市
及び奈良県香芝市

調査・報告

私ども議会運営委員会の六名及び随員一名は、去る二月三日から五日まで、京都府京田辺市・三重県伊賀市及び奈良県香芝市に所管事項調査を実施しましたので、その報告をいたします。

京田辺市

一般質問における一問一答方式と一括質問・一括答弁方式との併用について研修。

伊賀市

議会基本条例についての研修。

香芝市

一問一答方式及び議会改革検討会の設置について研修。

今回の研修を通じて感じましたことは、地方分権一括法が施行され、分権時代における市議会のあり方がさまざま変わりしようとしている。昨今、わが垂水市議会もあるべき議会像を模索し、議会改革の真っ最中でありませう。私は伊賀市

の議会基本条例に接したことで、これまでの議会から新しい発想に基づく議会改革を検討し、分権時代にふさわしい自治権を踏まえた議会に変わる必要があると思つているところでございます。

しかしながら、先を急ぐあまり、抽象論的な議会基本条例になってしまふと議会本来のあり方さえも見失い、何ら意味のないものになつてしまふことさえ危惧されませう。したがって、議会基本条例の制定を目標に、まずはできるところからしっかりと足を地に着けてやるのが肝要ではないかと思ひます。

私ども市議会は、これまでもさまざまな議会改革を断行してきました。現在議運では、地方自治体の主権者である市民にとってわかりやすい、そして開かれた市議会にするためには、一問一答方式の導入は避けて通れない問題だと認識し、一問一答方式を検討課題として、議論を始めたばかりですが、今回の京田辺市及び香芝市の実情を研修した成果を活かすことが、将来の議会基本条例の制定への第一歩になると確信しているところでございます。

つきましては、私ども議運も一問一答方式の導入について、年内にもその結論を得るべく真摯に検討していく所存でありますので、

議長をはじめとする議員の皆様方にもご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも、議会改革の灯を消すことなく、さらなる改革に向けて邁進していく決意の一端を述べまして、議会運営委員会の所管事項調査の報告を終わります。
(委員長報告を抜粋して掲載いたしました。)

編集後記

市議会だより編集委員は、今回の79号で任期満了となりました。

この間16回の編集委員会を開き、読みやすく親しみやすい紙面に心がけてきました。ありがとうございました。来月号より新編集委員で編集作業をおこなうこととなります。



市議会へ行くつう

平成21年第2回定例会会期日程

5月29日 本会議

6月9日 本会議（一般質問）

6月10日 本会議（一般質問）

6月11日 産業厚生委員会

6月15日 総務文教委員会

6月17日 議会運営委員会

6月18日 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

※委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。

※5月29日、6月18日本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※市などへ意見や要望があるときは、だれでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。請願は市議会議員の紹介を必要としませんが、陳情の場合は必要ありません。なお、定例会前の議会運営委員会前日までに受け付けたものが、その会期中に審査されます。日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。

編集等についての御意見、ご感想等ございましたらお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ

垂水市議会事務局

☎ 32-11111 (358)

メールアドレス

gikai@city.tanunizukagoshima.jp